

草はらを なかよく走る 馬一頭 神室ファームは 紅葉にもえて  
先人の 知恵と文化を 受け継いで 栄え続ける われらの金山  
金山の 夜の大壩 光つて ライトに照らされ 泳ぐ鯉たち  
お祝いの 百年の旗 町中に 巡り合わせた 記念の年に  
百周年 にぎわう金山 声ひびく 嬉しくなつて 声出す私  
金山の 四季をいろどる 百年の 変わらぬ風景 ずっと未来に  
金山の キラリと光る 物語 次に続くは 我らの未来  
僕と母 祖母も卒業 金山小 つながる記憶 百五十年よ  
金山の ビーナツツクリーム もちに入れ 母と開発 「ビーもつかやく  
校庭に ひびくわだわ 木の音が わははと笑う 友達の声

第10回歌会始を開催  
最優秀作品三十三首が披露されました



▲最優秀に選ばれた児童10名

1月15日、金山小学校で第10回目となる歌会始が開催され、最優秀作品に選ばれた10名の児童が短歌を披露しました。新庄龍山短歌会山田拓代表は「レベルの高い作品が多く優秀作品の選定に苦戦した」と講評を述べ、来賓の柴田清正さん(入有屋)は「町制施行100周年、金山小創立150周年の記念すべき年に第10回目となる歌会始を開催でき大変嬉しく思う。『継続は宝なり』今後もこの伝統を引き継いでほしい」と想いを語られました。

吉よし田やまだ山やま日ひ向むかし柴しば原しまば小お野の伊い藤とう阿あべ阿べ部べ

咲さゆき大だいき希しこ都とく佑ゆう都とく莉り絹じゅう愛うめ大たい河がく椿つばさ海しおん音

リタイアが頭の中でかけめぐる がまんだ我慢 走つた  
秋の来てグリーンカーテン役目終え スカスカな葉に感  
夏休み 面接指導念入りに 受けるもやはり不安は消え  
新年度 窓から見える桜の木 最後の一年この教室で

【一般の部詠歌】最優秀六首

たて山を「よいちよよいちよ」と登る孫(きみ)と まちを  
孫たちと美杉(みすぎ)の「こと大きくなりし」「じやれば  
おしおがつ百さいになるかねやままち うれしいうわ  
百年後 一百才の金山町 わたしは百十才 一元氣でいる  
廃校の運動場に野菊咲く エールを贈る卒業生に  
脈々と 引き継がれゆく金山小「百五十年」の歴史を明る

【一般の部詠歌】 最優秀六首

走りゆく夏の暑さは消えゆきて 秋の  
リタイアが頭の中でかけめぐる がま  
夏休み 面接指導入りに 受けるも  
新年度 窓から見える桜の木 最後の

友達と川遊びをしきずめられ 流れの中に魚群発見  
秋の朝 親子で登る神室山 野山の錦に思わず微笑む  
通学路 四季の変わり目 金山の 教えてくれる桜の木々が  
白光りの行き渡る町あたたかな 曇射しが冷えた朝露包む  
シャボン玉 虹の彼方へ飛んでゆけ！ 希望がいっぱい私の未来  
入学式 胸の高鳴り友の笑顔（かお） 新たな希望へふみだす一步  
合唱祭 会場いっぱい響く声 我が学級の成長語る  
朝早く窓を開ければ吹く風に かすかに感じる初夏のぬくもり  
金山の町並み変わらず美しく 空は晴れ色 心静まる  
帰り道 友に手を振り 上見れば 気持ち重なる燈（だいだい）の翌

**【高等学校の部詠歌】 最優秀八首**

走り際(ぎわ) 雨が上がりて紫陽花に 残る滴(しずく)に足がどじまの  
リタイアが頭の中でかけめぐる がまんだ我慢 走つた一人  
秋の来てグリーンカーテン役目終え スカスカな葉に感じる寒さ  
夏休み 面接指導念入りに 受けるもやはり不安は消えず  
新年度 窓から見える桜の木 最後の一年この教室で

【一般の部 詠歌】最優秀六首

たて山を「よいかよよこちよ」と登る孫(やみ)と まちを見下ろし幸せのあせ  
孫たちと美杉(みすぎ)のこと大きくなりし ごじやれび焚いて迎へるお盆  
おしうがつ百さいになるかねやままち うれしうれしいおめでとう  
百年後 二百年の金山町 わたしは百十才 元氣でいるかしら  
廃校の運動場に野菊咲く ハールを贈る卒業生に

## 能登半島豪雨災害の被災地へ もがみ北部商工会女性部金山支部が募金活動を実施



▲佐藤英司町長(左)、丹恵美子さん(中央)、柿崎幸子さん(右)

12月26日、もがみ北部商工会女性部金山支部の丹惠  
み こ 美子さん(七日町)と柿崎幸子さん(内町)が来庁され、  
ご寄付を賜りました。この寄付金は11月3日に開催さ  
れた「ふあむふあむマルシェ」で集められたもので、総  
額を町へご寄付いただきました。頂戴した寄付金は、日本赤十字社山形県支部金山町分区を通して、能登半島豪  
雨災害の被災地へ送金されます。皆様のご協力、温かい  
お気持ちで心から感謝申し上げます。



▲佐藤英司町長(左)、笹健一代表取締役社長(中央)  
二宮酒造会社(右)

沼田建設株式会社より、企業版ふるさと納税による500万円のご寄付を賜り、12月25日に感謝状贈呈式が開催されました。沼田建設株式会社 篠健一代表取締役社長より「100周年の節目を迎え、これからさらに輝ける未来に邁進する金山町を応援したい」との挨拶をいただきました。頂戴した寄付金については、「街並み（景観）づくり100年運動推進事業」及び「新庄南高金山校魅力化推進事業」に有効に活用させていただきます。

子どもたちの安全のために  
白岩土木建築 冬期交通安全教室



▲安全教室では除雪車の試乗体験も実施されました

12月19日、認定こども園めごたまの駐車場で白岩土木建築株式会社主催の「幼児のための冬期交通安全教室」が開催されました。この企画は冬期の交通災害撲滅を目的として20年以上前から実施されており、今年度は年長児23名が参加しました。じいわたりくみ白岩匠社長は「金山の子どもたちのためにこの企画を長年続けてきた。除雪車の危険性や冬期の交通ルールを子どもたちに伝え、冬期間を安全に過ごしてもらいたい」と想いを語られました。

## 町の人才培养の推進を 星川建設株式会社から町へ寄付



▲星川知己専務取締役(左)、星川広喜代表取締役社長(中央)、佐藤英司町長(右)

ほしかわ ひろき  
星川建設株式会社星川広喜代表取締役社長  
ほしかわともき  
と星川知己専務取締役が来庁し、500万円の一般寄付を  
賜りました。頂戴した寄付金は「町の人材育成事業へ活  
用してほしい」との意向から、「かねやま清い心の町創  
造基金」へ積立し、来年度以降、町民の皆様と町職員の  
ための人材育成事業などに有効に活用させていただき  
ます。